

令和3年度 新型コロナウイルス感染症の影響により
内容を変更した事業

施策番号	事業名（概要）	当初計画	実績	担当課
2	GAP推進研修会 GAPの導入や認証取得に関心のある農業者等を対象にGAPの理解を深める研修。	1回の開催を予定。	開催を見送った。	みや米課
3	農薬危害防止運動研修会 農薬取扱者、市町村、関係団体等を対象とした農薬危害防止対策を学ぶ研修	1回の開催を予定。	開催を見送った。	みや米課
3	農薬管理指導士更新研修 5年毎の更新研修。	4回の開催を予定。	集合形式による研修に替えて、資料送付又は動画資料による自主研修に変更して実施した。	みや米課
3	農薬管理指導士養成研修 新規認定希望者を対象とした研修及び認定試験。	1回の開催を予定。	集合形式で準備したが、研修部分は資料送付による自主研修とした。コロナ感染拡大状況を踏まえて認定試験のみ3回に分散して実施した。	みや米課
9	H A C C P 研修会（HACCPに基づいた衛生管理） H A C C P の実践手法について研修	HACCP研修会（全6回開催）のうち、HACCPに基づいた衛生管理に関する集合研修を県内3箇所で1回ずつの開催を予定。（この他、HACCPの考え方を取り入れた衛生管理を対象とした研修を4回実施）	オンラインで2回開催した。機器の都合で参加できない事業者がいたが、参加事業者からは社内で多くの職員が参加できたと肯定意見も多かった。（この他、HACCPの考え方を取り入れた衛生管理を対象とした研修は4回実施）	食暮課
9	新型コロナ対策実施中ポスターの発行	令和2年より開始し、令和3年度は継続	飲食店事業者を対象に、業種ごとに定められたガイドラインに従い感染防止対策に取り組んでいる店舗であることを示す「新型コロナ対策実施中ポスター」を発行した。	食暮課
15	飲食店及び食品製造施設等に対する監視指導	監視計画件数 23,468件	新型コロナウイルス感染症対策業務を遂行するために食品監視の実施が困難な場合は中止することとした。 食品監視実績： 17,793件	食暮課

施策番号	事業名（概要）	当初計画	実績	担当課
16	食品検査	細菌検査：1,367件 理化学検査（放射線検査含む）：1,020件	緊急事態宣言発令中の保健所による食品検査を中止としたほか、発令期間以外においても新型コロナウイルス感染症対策業務を遂行するために食品検査の実施が困難な場合は中止することとした。 食品検査実績 細菌検査：1,236件 理化学検査（放射線検査含む）：732件	食暮課
17	かき処理場の監視指導	かき処理場80施設に、延べ129回の施設監視の実施	保健所において、新型コロナウイルス感染症対応のための人員配置により対応困難な一部事業（定期的な施設監視等）について縮小した。 かき処理場の監視指導実績 162件	食暮課
18	米トレーサビリティ法に基づく米穀の流通監視業務 東北農政局と連携して米穀事業者への立入検査を行う。	原則、毎月の検査を予定。	4～5月・10～11月・1月の検査を見送った。	みや米課
19	薬事指導取締事業 無承認無許可医薬品の流通実態の把握と取締りを目的として、買上げ調査において、県内流通製品の買上げ及び業者指導を実施する。	4検体の買上げを予定。	買上げを見送った。	薬務課
20	食品表示ウォッチャー活動 消費者モニターに委嘱し、店舗での食品表示モニタリングを行う。	7ヶ月の活動を委嘱し、延べ1,400店舗をモニタリングする。 活動前に説明会を1回開催する。	事業を休止することとした。	食暮課
21	食品表示に関する研修会・説明会	講師派遣：随時	講師の派遣依頼が例年より少なく（新型コロナウイルス感染症の影響と考えられる）、講師派遣を4回実施した。 また、事業者向けに、新しい原料原産地表示制度説明会をオンラインで開催した。	食暮課
24	選ぶ！選ばれる!!みやぎ飲食店コロナ認証制度	当初予定なし	飲食店等の新型コロナウイルス感染防止対策に必要な事項について、実施状況を確認し、県が定める基準を満たしている場合に認証を行った。 3,424店舗を認証した。	食暮課

施策番号	事業名（概要）	当初計画	実績	担当課
26	消費者等生産現場交流 消費者が環境保全型農業に取り組む生産者と交流を行う。	1回の開催を予定。	開催を見送った。	みや米課
26	生産者との交流会 生産者と消費者モニターが生産現場で意見交換を行い、相互理解を深める。	3回の開催を予定。	開催を見送った。	食暮課
26	特用林産物販売会 消費者の理解促進と生産者の意欲高揚を図る。	4回の開催を予定。	うち1回（10月予定）の開催を見送った。	林振課
27	県産水産物需要喚起事業	当初予定なし	県産水産物販売促進キャンペーンを実施した量販店等への補助、「みやぎ水産の日まつり」の拡大開催	水振課
28	食材王国みやぎ「伝え人」	新型コロナの感染拡大前の実施件数（642件）	新型コロナの感染拡大により、調理実習ができない等の理由で実施を断念すること等が継続しており、114件となった。	食振課
28	「食材王国みやぎ」魅力発信プロジェクト事業（食材提案会）	2回	新型コロナの感染拡大により、食材提案会を開催できなかった。	食振課
28	県産農林水産物取扱事業者体力回復事業	当初予定なし	新型コロナの影響が長期化する中、飲食店には協力金等の支援があるものの、関連する流通関係者には支給されない等、業種によって差が生じている。このため、県内の生産者・流通事業者が、県産農林水産物の流通体制の維持・強化を図るための取組に対して補助を行った。 交付実績：17件、20,300千円	食振課
28	子ども食堂を通じた魚食活動支援事業	漁業者等と子ども食堂との交流、食材提供等を通じて、魚食普及や、漁業者等の社会貢献意識の醸成を図る。	新型コロナの感染拡大により、子ども食堂との交流、食材提供ができなかった。	水振課
29	放射線・放射能に関するセミナー 県民を対象とした放射線・放射能に関するセミナーを開催し知識を深める。	3回の開催を予定。	開催を見送った。	原対課
31	放射能県民安心事業 市町村職員を対象とした放射能測定の見学を行い測定に関する知識の向上を図る。	1回の開催を予定。	開催を見送った。	原対課

施策番号	事業名（概要）	当初計画	実績	担当課
34	各種講習会の開催 食の安全安心セミナー，地方懇談会，出前講座，消費者モニター研修会，食品工場見学会・生産者との交流会	食の安全安心セミナー：2回 消費者モニター研修会：1回 地方懇談会：7回 出前講座：随時	食の安全安心セミナー及び消費者モニター研修会は計画通り開催したが，2回目のセミナーは動画配信で，モニター研修会はオンライン及び動画配信で開催した。 地方懇談会は，計画段階で開催を自粛し，計画7回に対し8回開催した。 出前講座は例年より依頼が少なく，4回開催した。 食品工場見学会・生産者との交流会は開催を見送った。 以上のことから，各種講習会への参加者数は前年度を下回った。	食暮課
35	地方懇談会 地域に密着した食の安全安心に関するテーマについて，圏域単位で情報共有や意見交換を行う。	各圏域の計7回	・新型コロナウイルス感染拡大のため，計画段階で開催を自粛し，計画7回に対し8回開催した。	食暮課
38	食の危機管理対応チーム会議の開催 食の安全安心に係る課室間で食の危害要因に係る情報共有・意見交換を行う。	毎月1回，計12回開催。	コロナ及び豚熱対応により2回の開催を見送り，計10回会議を開催した。	食暮課
41	食品表示110番情報交換会	毎月1回，計12回出席。	コロナの感染拡大により，4回のみ開催された。	食暮課
41	宮城県食品表示監視協議会	毎年1回開催	コロナの感染拡大により，開催中止となった。	食暮課
42	みやぎ食の安全安心推進会議の開催	3回の開催を計画。	新型コロナの感染拡大を防止するため1回分の開催を見送り，2回の開催となった。	食暮課